

## チーム医療の実践

当院では、ICT（感染制御チーム）、NST（栄養サポートチーム）、RST（呼吸器サポートチーム）、PCT（緩和ケアチーム）など多職種が連携するチーム活動に研修医も参加することができます。

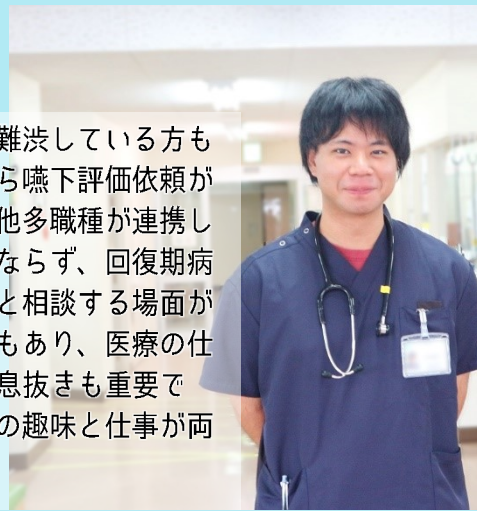


あしみね だい  
安次嶺 大

「仕事と趣味が両立できる」

— 言語聴覚士 —

沖縄県北部圏域には高齢者が多いため、摂食嚥下障害に難渋している方も多ですが、病院が少ないため、地域の医療・福祉施設から嚥下評価依頼が多くあります。そのため当院では医師や言語聴覚士、その他多職種が連携し嚥下造影検査を行っております。また、当院は急性期のみならず、回復期病棟、地域包括ケア病棟もあり治療終了時から退院まで医師と相談する場面があることも特徴の一つだと思います。コロナ禍ということもあり、医療の仕事には非常なストレスがかかってしまうこともあるので、息抜きも重要です。当院がある北部地域は自然に囲まれているので、自分の趣味と仕事が両立しながら働くことができると思います。



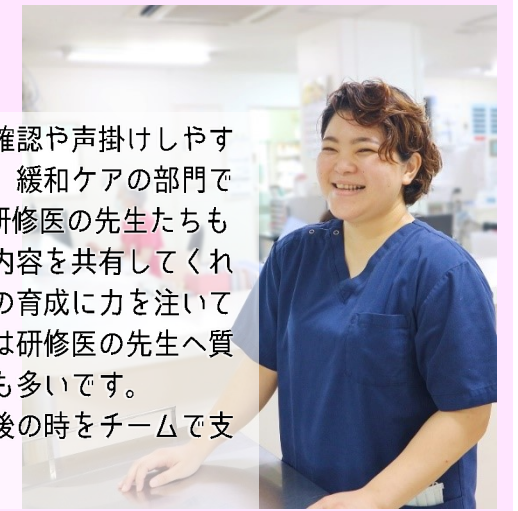
おおしろ りさ  
大城 梨沙

「声掛けしやすく、育成に力を」

— 緩和ケア認定看護師 —

当院は様々な部署でカンファレンスや回診が盛んで、些細な事でも確認や声掛けしやすい雰囲気です。また、多職種が連携するチーム医療に力を入れており、緩和ケアの部門では、医師は「治療」だけでなく患者さんのQOLも検討してくれます。研修医の先生たちも回診で話し合った内容を考慮し、薬剤の検討やカンファレンスで話した内容を共有してくれます。そして、看護師の私から見てもベテランの医師たちが若い医師の育成に力を注いでいる印象です。受け持ちの患者さんの状態に変化があった時は、まずは研修医の先生へ質問や指示を確認し、指導医の指導のもと患者さんを診るといった場面も多いです。

主治医、緩和ケア医師と連携しながら、患者さんやご家族が望む最後の時をチームで支えながら、充実した活動ができるよう一緒に働ければと思います。



たさき かおり  
田崎 香李

「相談しやすい環境」

— 臨床検査技師 —

当院は若い職員が多い職場ではありますが、年齢問わず話しやすい雰囲気です。

私は血液を扱っている検査を担当しており、医師との関わりで特に多いのは「輸血」と「パニック値報告」です。当院は血液センターから遠く、緊急輸血時でも血液製剤の到着に時間がかかるため、前もってのオーダーに協力してもらっています。

また、緊急オーダー時も電話確認をしても患者さんの状態を教えてください、検査の要望（提案）に快く対応してくれるので、とても相談しやすい環境です。



たから ひでし  
高良 秀史

「チームで感染症診療を支える」

— 薬剤師 —

各部門間はもちろん職種間でも垣根がなく、明るく優しい雰囲気です。患者さんへより良い医療・標準的な医療が受けられるように頑張っている職場です。なんとと言っても職員に温かい病院だと常日頃感じております。

私は感染制御認定薬剤師としてICT（感染制御チーム）に所属し、院内感染ラウンド等でICD（インフェクションコントロールドクター）と連携し、感染対策や抗菌薬の適正使用を支援し、薬学的管理が図られているか協同で行っております。医師と薬剤師間で薬剤の投薬方法に関して相違があった際、直接医師が薬剤師の所まで足を運んで頂き、顔を突き合わせて議論し考えを共有、修正できました。当院の医師はコメディカルを尊重し、患者さんをチームで支えているのだと感じさせてくれます。

